

新連載

たまご博物館通信

①はじめまして。「たまご博物館」館長です。

「たまご博物館」館長 高木伸一

「養鶏の友」誌の読者の皆さん、はじめまして。

今月からはじまった新連載「たまご博物館通信」を執筆させていただきます。高木と申します。

私は、インターネット上の仮想博物館である「たまご博物館」というホームページを公開しています。

「たまご博物館」は、私の趣味として作成したホームページで、一九九七年の夏から準備をはじめ、一九九八年一月に公開しました。

今回は、連載の第一回という

ことで、ホームページ「たまご博物館」の誕生の経緯や、何を目的にどのようなことを掲載しているかなどについてご紹介したいと思います。

たまごが大好きです！

私は現在、NTTデータ中国という会社に勤めており、銀行系のコンピュータシステムの担当をしています。それなのに、なぜ「たまご」なの、というご質問をよく受けます。答えは簡

単です。実は私、たまごが大好きなのです。

目玉焼きであれば五つ、六つは軽くだいらげます。最近では「親子煮」にはまっています。これもたまごを五個から六個使って作ります。私にとって、「鶏は人生の必須アイテム」というわけです。

以前、息子と行った箱根の温泉宿では、一泊二日で一五個の温泉たまごを食べました。どちらかというとシンプルなたまご料理が好きなのです。その分、素材（たまご）の良さにはうる

高木伸一(たかきしんいち)プロフィール

昭和33年生まれ。出身は広島県広島市だが、現在は関東に単身赴任中。コンピュータ関連の会社に勤めている。養鶏業界に大きく関わるきっかけとなったホームページ「たまご博物館」は、たまご好きが高じて1998年に立ち上げた個人ホームページ。大規模養鶏企業の研修や養鶏家のホームページでも引用されるほどの情報量が詰まっており、来館者数(アクセス数)は50万を超えた。また、「たまご博物館」館長として、テレビやラジオ番組などにも出演。

さいかも知れません。

わが家は、家族全員が「たまご好き」です。私は、出張先や旅行先では必ずデパートの地下やスーパーのたまご売り場に行き、新しい製品を見つけると必ず購入しています。そして、たまご博物館にある「特殊卵コーナー」(ブランド卵を一覧で掲載しています)に掲載しています。以前、鹿児島に旅行に行ったときには購入したたまごをダン



鶏を抱かせてもらおうと、どうしても顔がほころんでしまいます。

たまごのおもしろネーミングがきっかけです

私は、仕事柄インターネットについて人よりは早く知っていましたが、ホームページを作ってみようと思ったのは、平成九年に北海道（札幌）に転勤した

ボール二箱分、自宅に送りました。多いときには自宅の冷蔵庫に三〇〇個くらいたまごがあったことがあります（たまごトビール専用の冷蔵庫があります）。

ときです。札幌には二年二カ月ほど住んでいました。そのときに何らかのホームページを作ってみようと思ったわけです。ホームページの「題材」を何にするか迷っていたのですが、そのころ、北海道を旅行中に初めて「たまごの自動販売機」を見つけて、色々なところで購入しては、そのラベルを何の気なしに集めていました。その中に比布町で買った「かっぱの健卵」という名前の付いたたまごがあり、色々なたまごのネーミングをホームページに掲載すれば、面白いものができるところでは、と考えたのが「たまご博物館」誕生のきっかけです。近年は本場にブランド卵の種類が増え、「豪華健卵」とか「家族だん卵」などといった面白いネーミングがたくさんあります。私は、人があまりやっていないようなことをやるのが好きで、そのころ「たまご」に関するホームページがほとんどなかった

倉庫に積んである大量のたまごの山は感動した

ことも、「たまご」を題材にしてみようと思ったきっかけでした。まずは、情報収集ということので、最初に思いついたのが「ホクレン」さんです。

まだ、「たまご」の生産に関して何も分からない状態でしたので、ホクレンの看板を見つけて、飛び込みで行ったところ、「ここは、たまごを扱ってないんですよ」と言われました。

そこは、豚肉の処理をしているホクレンの工場だったのです。そこで対応していただいた方にホクレンの「鶏卵課」を紹介していただきました。そして、その足ですぐ鶏卵課に行ったのです。

このときに生まれてはじめてGPセンターの内部を見せていただいたのですが、倉庫の中に積んである大量のたまごの山を

見て、思わずうれしくなったことを覚えています。このときからインターネット上の仮想博物館である「たまご博物館」の作成に向けて動き出したわけです。ホクレンの鶏卵課で「鶏卵の知識と品質管理」という一冊の資料をいただき、その内容が開設当時の「たまご博物館」の骨格になりました。情報収集の手始めには最適な本でした。

たまご好きとして、たまごを追求したい

また、札幌近郊の養鶏場（江別市の太田ファーム様など）を訪ねて話を伺ったり、見学させてもらったりもしました。どこかの養鶏場でも、飛び込みの素人にもかかわらず親切に教えていただき、大変ありがたかったです。

その後、東京に転勤になってからは、埼玉の愛鶏園様をはじめとした養鶏場や、全農本所の

方にGPや液卵工場を見学させていただき、それを元に「たまご博物館」に新たに施設見学コースを作成しました。

「施設見学コース」は、私が今一番力を入れているページです。ので、どこか「たまご」関連の施設を見学させていただけるところがございましたら、教え

ていただければ幸いです。全国各地どこへでも喜んで飛んでいきます。

たまごは身近な食材であるにもかかわらず、奥が深く、まだ解明されていないことがたくさんあります。「たまご好き」の一人として、今後も「たまご」を追い求めていきたいと考えてい

ます。

◆ ◆ ◆

本連載では、今後、私（消費者）から見た養鶏・鶏卵業界のお話や、「このような商品を開発してほしい」といった、たまご好きからのお願いや、さまざま「たまご」にまつわる楽し

いお話をさせていただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

次回は、「個人のホームページとしてたまご博物館」についてお話ししたいと思います。



たまご博物館

あなたは、この博物館の
 見学者
 入目の入場者です。

館内のご案内 (MENU)

1F ■ 生物学コーナー
 このコーナーでは、生物学的な見地から「たまご」を見つめています。たまごの構造や各部の役割等、小宇宙とも言うべき「たまご」のなぞに迫ります。

2F ■ 経済学コーナー
 このコーナーでは、経済を通して「たまご」を見ています。古くから身近な素材として用いられている「たまご」の流通経路や価格変動の仕組みを解説しています。

3F ■ 栄養学コーナー
 このコーナーでは、すぐれた栄養を持っている「たまご」の成分、カロリー等、栄養学の面から解説しています。また、たまごとの関係について、特にコレステロール等、健康面にも見ていきます。(09.03.23 ビタミンに関する項を充実)

4F ■ 養鶏学コーナー
 このコーナーでは、「たまご」の生産場である養鶏場とはどのような所か、また、飼育方法による違い、GPセンターでの選別ライン等を見ていきます。また、全国的に有名な「さくらたまご」誕生の歴史を紹介しています。(09.04.19 養鶏で使われる用語一覧を追加)

5F ■ 加工学コーナー
 このコーナーでは、「たまご」の加工利用について見ていきます。液卵、凍結卵、乾卵等の加工卵の生産過程や加工食品への応用を解説しています。(08.08.13増設)

6F ■ 特殊卵コーナー
 このコーナーでは、一般に販売されている「たまご」のブランド名とその特徴を紹介しています。(2005.05.03現在、900種類を展示) 50音順になっています。(09.03.23に特殊卵名一覧を追加)

7F ■ Q&Aコーナー
 このコーナーでは、「たまご」について、ふだん疑問に感じているが聞けたことがないと思われるような事項をQ&A方式で解説しています。(09.03.23にQ&A一覧を追加)

8F ■ 施設見学コース
 ここでは、一般にはあまり知られていない「たまご」に関する各種施設や工場を画像で見学できます。養鶏場をはじめ、たまごパック製造工場や液卵製造工場、孵化場などの7コースを掲載しています。(08.06.17増設)

■ 総合案内所
 案内所では、「たまご博物館」の館内の様子が一望できます。また、直接、お話ししたい項目(ページ)へジャンプできます。(09.05.27増設)

E1 ■ 鶏卵研究室
 ここでは、鶏卵に関連する様々な事項について、より深く探っていきます。(08.02.14増設、順次情報を追加) 鶏卵業者、養鶏業者の方など向けに作成しているため、専門的な内容となっています。

E2 ■ 鶏卵統計室
 ここでは、「鶏卵相場」をはじめ、鶏卵に関する様々な統計情報を展示しています。(08.02.14増設、順次データを追加) 鶏卵業者、養鶏業者の方など向けに作成しているため、専門的な内容となっています。

別館 ■ プロイラー館
 ここ「たまご博物館」の別館「プロイラー館」では、採卵用の鶏である「レイヤー」に対して、「プロイラー」と呼ばれている肉用の鶏について、鶏肉の特徴や統計情報を掲載しています。(08.06.03増設、2001.06 国産技術鶏一覧を追加)

■ 閲覧室
 閲覧室では、「たまご博物館」の掲載項目を一覧(50音順)にしています。直接、お話ししたい項目掲載ページへジャンプできます。(2001.12.30増設) ※キーワードによる検索機能もありません。(2004.07.07機能追加)

付属 ■ たまご研究所
 ここ「たまご博物館」の付属施設「たまご研究所」では、「鶏卵とバイオテクノロジー」に関する情報および国内の学会で発表された「鶏卵に関する研究」の調査報告を掲載しています。一般の方に分かりやすいように解説も掲載しています。(2002.06.06増設)

付属 ■ コレステロール研究所
 ここ「たまご博物館」の付属施設「コレステロール研究所」では、たまごコレステロールの関係について、その基礎から国内外の学術論文報告など、様々なコレステロール情報を掲載しています。(2000.01.05増設)

○ たまご博物館からの
お祝の誌

「たまご博物館」のメニューです。一度訪れてみてください。

